

鳴海周平の

# ぶらり旅

兵庫県・姫路<sup>ひめじ</sup>編

まるで水から飛び立つ  
白鷺<sup>しらさぎ</sup>のような美しさから  
別名「白鷺城」とも呼ばれ  
る姫路城。  
新緑の美しさとの調和  
も素晴らしい初夏の姫路  
を訪ねました。





いやはや、なんと美しきかな姫路城……と、つい文体までおかしくなってしまうほどの美しさは白鷺城の別名も、むべなるかな。

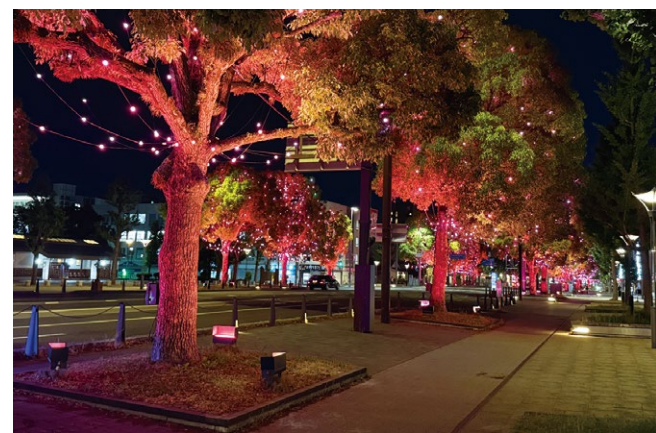
1333年にはじめてこの地に砦が築かれてから、歴代の城主によって拡張が続けられ、現在の全容となったのが1617年。その後、1933年に日本ではじめての世界文化遺産に登録されたとのこととをかし……文章も、なにかおかし。(おかしな文体ここまで)

姫路城から車で移動すること約20分で到着したのは966年に性空上人によって開かれたという天台宗の古刹・書写山圓教寺。しよしゃざんつて、かまずに言えますか?……べつに言えても言えなくても、どっちでもいいんですけど(笑)僕は猛練習をして言えるようになりました。

ついでに、唇の上下が触れないように、しよしゃざんえんぎようにじつて言えますか?……これは、もと



西国三十三霊場の第二十七番札所・書写山圓教寺は西の比叡山とも呼ばれる名刹

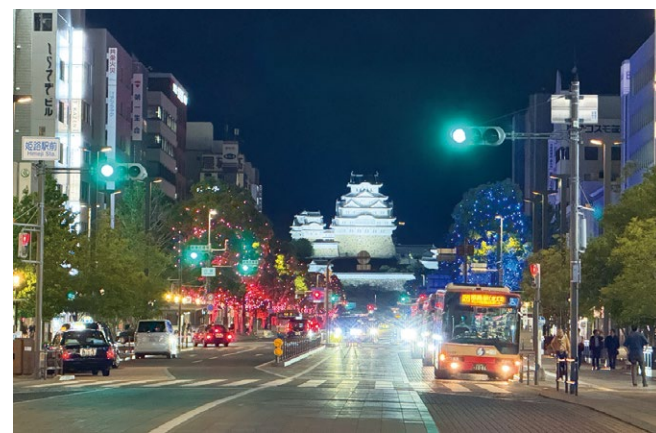


姫路駅から姫路城までの夜道のライトアップもいい感じ。

こうしたエネルギースポットは、からだやところが疲れたときなどに訪れると、疲れもス・ポ・ッ・と抜けることでしょう。

書写山から姫路の街へ戻った頃には、もう日も暮れかけてスポットライトが姫路城を美しく照らしておりました。

書写山で購入したトムクルーズもお気に入りというお菓子をお伴に姫路の夜は更けていくのでした……いと、をかし。



姫路駅から夜の姫路城を望む……よきかな



国宝・姫路城に隣接する好古園は池泉回遊式の日本庭園

もと触れずに言えるでしょう。

それにしても、さすが西の比叡山と称される書写山圓教寺。一帯に広がるエネルギーと境内に点在する貴重な文化財が織りなす荘厳で静謐な雰囲気は映画『ラストサムライ』のロケ地になるなど多くの名作の舞台となったことも納得なのであります。

「摩尼殿」「大講堂」「食堂」を抜けたところにある「奥の院」もまた気持ちのよいスポット。



奥の院のこの辺りが、またいちだんと心地よいスポット!



標高371mの山までロープウェイで行けちゃいます。



映画『ラストサムライ』や大河ドラマ『軍師官兵衛』など錚々たる作品のロケ地にもなりました。